

龍馬の絆で結ぶ都市間交流宣言

幕末の志士“坂本龍馬”は、高知で生まれ、京都で亡くなるまでの間、明治近代国家への道を開いた大政奉還・王政復古の礎を築く薩長同盟や亀山社中・海援隊による海運事業等により、日本全国を駆け巡り、各地にその足跡を残していきました。

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という分権型社会にあっては、それぞれの地域で育まれた自然、歴史や文化などを活用しながら、自立した地域社会を構築していく必要があります。また、基礎自治体には、近年の台風・集中豪雨など異常気象への対応や東日本大震災を受けた地震の想定など、万一の事態に備えた万全の備えが求められています。

我々、坂本龍馬にゆかりのある市区は、龍馬が持つ実行力、行動力に思いを馳せ、明治維新・戦後改革に継ぐこの変革の時代をくぐり抜け、宣言市区のさらなる発展に向けた取組の輪を広げるため、新たな「絆」を結び文化・観光・防災の各分野を中心とした相互協力・交流を実施することをここに宣言します。

平成26年11月15日

鹿児島市長

森 博幸

霧島市長



長崎市長

田上 富久

下関市長

中尾 友昭

福山市長

羽田 龍

京都市長

門川 大作

品川区長

濱野 健

高知市長

岡崎 誠也